

平成28年度第1回宗像市郷土文化学習交流館協議会議事録

- 日 時：平成28年9月27日（火曜日） 13時から15時00分
- 会 場：海の道むなかた館 講義室
- 出席者：亀井会長、樋田副会長、海出委員、河窪委員、園元委員、藤委員、牟田委員
【事務局】 柚木課長、徳永室長、灘谷局長、安部係長、合島係長、井上主任主事

【事務局より】

皆様、こんにちは、ただいまから、平成28年度第1回宗像市郷土文化学習交流館協議会を開催させていただきます。

西谷館長は、昨日から10月2日まで、中国に行かれております。委員の皆様方には、よろしくお伝えくださいとのことでございました。

本年4月の人事異動について、紹介いたします。部長が、前任の福崎部長から新たに文化スポーツ担当部長として、磯部部長が着任しております。本日、東京へ公務出張のため欠席いたしております。

次に、郷土文化係長に合島、担当係員に井上が参りましたので、ご挨拶申し上げます。それでは、会長からごあいさつをいただきまして、議事進行をお願いいたします。

1 会長あいさつ

○会長

今日が28年度の第1回となっております。本日も滞りなく終わりたいと思いますのでご協力をお願いいたします。それでは報告審議事項へ入ります。

2.報告事項

(1) 平成27年度第2回宗像市郷土文化学習交流館協議会議事録の確認について

資料1：平成27年度第2回宗像市郷土文化学習交流館協議会議事録（要旨）

○会長

事前に送付されてきた資料1議事録について何かお気づきになられたこと、特にご自分の発言のところ何かございましたらご指摘いただければと思います。他にございませんでしたら、これで承認いただいということにさせていただきます。

私の方よりこの間の議事のところの確認しておきたいことがあります。資料1の議事録の4ページ目のところになりますが、委員の方より宗像大社の呼び名についてのお話がありました。事務局から調べればすぐわかるとのことだったので私の方から調べて下さいとお願いしておりましたがこれはどのようにになりましたでしょうか。ご確認いただけましたでしょうか。

○事務局

申し訳ございません。引き継ぎがうまくできていなかったもので確認できておりません。会議録を送付したいと思いますのでその際に文書にて回答させていただいてよろしいでしょうか。

○会長

お願いいたします。それほど大きな量にはならないとは思いますが、こういう質問はできるだけ次回までということをお願いしたいと思います。そうでないと言いつ放し、聞きつ放しになってしまう可能性がありますのでお忙しいとは思いますがよろしくお願いいたします。

○事務局

申し訳ございません。

(2) 平成 27 年度 宗像市郷土文化学習交流館事業の状況について

資料 2 : 平成 27 年度海の道むなかた館年報

○会長

資料 2 海の道むなかた館年報と資料 3 の海の道むなかた館入館者数を事務局にご説明いただきます。

【事務局説明】

○会長

今のご報告について、ご質問やご意見がございましたらお願いします。

○委員

資料 2 の入館者数ですが、4 月から 8 月ですが、月ごとに落ち込んでいっている。それは率にしますと 25%ダウンですね。25%のダウンというのは結構厳しいものではないだろうかと思っています。世界遺産の盛り上げと宣伝をマスメディアを通じている割には、効果がでてきていない。ちょっと心配だったので宗像大社の方へ最近の動向を確認したところ「増えています。」というように話をいただいています。宗像大社まで来ているので本来なら海の道むなかた館まで道を作っ
て見ていただきたいという気持ちがあったのですが、それがイコールになっていないということの厳しさもあるのではないかと。ではどこに問題があったのかは、これから調査いただいて、問題点を発掘していただき、今後 10 月のみあれ祭もありますので、今までにない良い運営をやっ
ていただきたい。

○会長

宗像大社の神宝館やこの館の入館者数は、これまでも 1 つ大きな課題で、何かとコラボできないかなど何度かこの協議会でも出たと思うがなかなか妙案が出ないものです。この件で他に。

○事務局

前々回、前回の協議会の中でもご意見をいただいております、その中でも大社、特に神宝館と連携をとっていきべきではないかのご意見をいただいております。まだ具体的には動いてはおりませんが、世界遺産の登録になりますと当館の果たす役割というのはガイドランス施設としての役割が大きくなってこようかと思っております。そういったところで大社の神宝館をはじめ、他の関連施設との動線、展示物を含む内容の検討を考えております。本年度中にこれらのことを考えた上でリニューアルの検討もすすめてさせていただきます。まだ私案ではありますが、世界遺産については沖ノ島に渡ることもできませんし、現地に行っても遺産群については、すぐその場でわかるというものではございませんので、まず、当館にご来館いただきしっかりと勉強していただいた上でそれぞれを見にいただくことがよかろうと思っております。ホームページについてもご提案いただ
いておりましたがまだ着手できておりません。私も 4 月から参りまして、なかなか伝えたいことがホームページでたどり着かないというところがあったり、お客様が望まれている情報がリアルタイムで出ていないというところも多々ありますのでそれについても改良の余地があるかなと思
います。そういったところで広報を考え直す必要があるかと思う。それから友の会を検討しては
どうかというご意見をいただいておりますので、友の会という形にするかどうかは別として普
通のお客様としてご来館いただくのではなく、海の道むなかた館を支えて応援してくださいとい
う応援団の輪というものを広げていく必要があるかと思っております。地域学芸員さんも約 80 名
の方が入館者の対応をやっていただいておりますし、海出会長にきていただいておりますように、地

域の交流拠点としてもやっていく、そのように支えの輪を広げていくという意味で友の会の件も検討させていただこうと思います。そういうことで入館者数増と充実強化ということで着手するための検討をすすめていこうと思います。

○会長

そうですね。1つ考えてみたら宗像大社の神宝館は、入館料をお支払いしていますよね。それでもみなさんいかれる訳ですよね。発想をかえてみてここは市の施設なのだけれども、たとえば、100円や200円の入館料をいただけるようになったとしてこれだけの人数がくるのかなど。これは発想の問題ですが、お金を払ってもみたいと思うか、無料だからちょっと試してみようかとなるのか、お金をとるならなおのことですが、お金をとってきてもくれるような中身というのはいったい何なのだろうかということを考えてみる。もし現状で有料にしたらどうなるかという発想で考えてみるとどうなのか、一般の方というのは専門家ではなくて、こんな土器があるとか、珍しいねということもあるかもしれないですがパッとみて遺跡に引きつけられるようなもの、私も素人でよくわかりませんが博物館に行ってみておもしろいなと思うのはジオラマです。大社にも南郷遺跡からのジオラマがありますが、ああいうものがあると模型をみるだけではなくて実寸のできるのであればおもしろいなと思います。

少し視点を変えてお金をとるとして来てもらえるのかを試しにやってみるのも1つの手かだと思います。お金をとることは厳しいですか。

○事務局

以前に特別展だったかどうか定かでないが有料にしたことがあったと思う。

○会長

その時の実績はどうだったのでしょうか。

○事務局

当館の基本計画を策定した時に有料、無料の話がでていましたが、その際にこの施設は世界遺産のガイダンス施設なので無料より多くの方にガイダンス施設の働きをしていくということで無料と決まりました。特別展で対価をいただがないといけないところについては有料にすることもあるということで基本計画にうたっています。現在は有料ではなく、無料でやっております。基本計画の中でも有料のことは考えています。

○会長

私が言っているのは有料にしろということではありませんが、有料にしてもきてくれるような中身がないといけないということです。

○事務局

会長がおっしゃったように少し視点をかえてせつかく貴重なご意見をいただきましたので新たな見方でその点については検討をしていきたいと思っています。

○会長

実際にとりかかるかどうかは別問題ですが、ほかにご意見があればどうぞ。

○委員

これが分析になるかどうかはわからないのですが、私が1週間に一度くらいしか来ないのではっきりしたことは言えないのですが、確かに県外、遠くから見えている方は以前より増えていると思います。むなかた館の立ち位置の問題にもつながってくると思います。これだけ年月が経ちましておそらく地元の方というか、近くの方の入館が減っているのではないかと思います。むなかた館は世界遺産のガイダンス施設としてあるのか、それとも体験学習を子どもたちにおこなったり、いろんなスポンサー、企業の方と協力しているようなイベントをしています。むなかた館がそういうところであるのかということにかかわってくると思うのですが、やはり身近な方

の入館が減っているようにとても感じます。皆さん、世界遺産ということで遠くからみえています。立ち返ってむなかた館がどのようなものであるかということが大事なことではないかと思えます。

○会長

もちろん設立が世界遺産と密接に関連していてガイドンス施設ということが前提にあるわけですが、もう1つには、広い意味での文化の発信があってその上に世界遺産のことがのらないといけないので、そこの基礎の部分で宗像の文化ということを強く発信すれば、市内の方も地元の文化でそういうこと絶えずやってくれるというのであればもっと関心があってそういうことにつながるのもしれないです。

○委員

むなかた館と神宝館に田島と神湊に在住の人が一度でも行ったことありますかと聞くと、意外と行かれていません。歩いて数分のところにあるが、高齢化ということもあり、できれば地元の人が一度でもいいから「行ったことがあるよ。」となるように定期的な送迎を考えたり、神宝館については、料金が1200円となっているが、「一度みてください、素晴らしいものがあるんですよ」と地元優先で地元の方は1回目は無料にするとか、地元が盛り上がるということは、まずはきていただくこと、そして見ていただき、素晴らしさを知ってもらうことだと思います。世界遺産の結果はまだ出ていませんが、そこから先のおおいなつながりになっていくのではないだろうかと思えます。機会があればそのようなことも会議の中で出してみようかと思っております。

○会長

ささやかな経験ですがなんかお話をさせていただくときに、例えば地元の地名とかそういうものが出ると皆さん、「おっ」と顔を向けられるのでそういうところもあるのだろうと思えます。そういうところをコンスタントにしかし万遍なくずっと順番に発信するというものを積み重ねて1つの長期的な企画でいくといいのかもしれない。

○委員

もう1点、入館者数の中で外国の方が何名ほど来ているかチェックできていませんよね。

○事務局

チェックできていません。

○委員

これから先、必要なことは、いろいろな面において、昨日、新聞にでましたように8か国同時案内がこれから先、世界遺産の案内においても必要になってくるのではないかと思えます。また、発信することにもつながってくる、国も力を入れているようですのでそういうものにも関心を示していただき、これからのことになりますので8か国で範囲は広がるのでどの程度かかるかはわかりませんが。

○委員

先ほど説明があったようにここである程度説明を聞いてそれぞれにいくのがいいと思えます。年報の18、19を見るとツアーでくる方は、必ずここに先に来られるということですね。そうすると入館者の減っている原因は、ツアー以外の先ほど言われたような地元であったり、家族連れは、先に大社の方へ行くというのが1つ原因になるのかなあと思うのでそういう対象を絞って対応を考えいく必要があるのではないかと思えます。いろいろな観光地に行くと半日コースとか1日コースというものがホームページで紹介してありますのでこの館を必ずそういうスタートにするとか、観光地に行くときにネットで調べながら時間に合わせてどこをスタートにして効率よくというように行く人が多いので、そういったのも取り込む1つの方策になるのかと思いました。

○会長

団体入館で観光バス会社などが増えていますがそれが世界遺産の1つの効用かもしれませんが広い意味で市の方から団体に働きかけられているのですか。

○事務局

私どもからの働きかけはしておりませんが、確認はしておりませんがもしかしたら商工観光部局のほうからなんらかのプレゼンテーションがしているかもしれません。私も4月に来て団体旅行の企業から「初めて連絡するのですが、」のようなご連絡を何度か受けたことがあります。横のつながりからあそこの館に行ったよというような情報が入ってくるのかなど。旅行会社からするところの館が無料であるのと、比較的コンパクトに体験できたりとか、長く滞在すれば、地域学芸員の方が説明していろいろな幅で使われているのでそういう意味では団体ツアーは増えつつ、広がりはあるのかなと思います。私どもが直接DMを出したりなどはしていません。

○会長

宗像市の組織の中には、観光課みたいなところはあるのですか。

○事務局

はいあります。

○会長

そういうところとタイアップされるとか、連携をとられるとよりよいと思います。同じ組織ですから横の連携でということもあるので。ほかにご意見ございませんか。

○副会長

ここは貸館としていろんな用途に使っていただくとかそういうことはされていますか。

○事務局

貸館はしておりません。市の他の部局が使いたいというときは貸し出しはしておりますけれども一般に貸館はやってないです。

○副会長

比較的に空いていることが多いということですか。

○事務局

会議等で結構使い手があります。

○副会長

今、館に入ってきましたらお昼ごはんを食べている方がおられて昼食にも開放されていて柔軟な提供をされているのだなと思ったんです。地区の区長さんたちの会合などにも提供してあげるとか、先生方の研修に使っていただくとか、あまり営利を目的なところにはいかないとは思いますが、ほどほどこの館の支援につながるようなところには開放してさしあげて足を運んでもらって逆に見てもらい広げてもらうというのが1つの方法ではないかと思うので、ますます柔軟な対応を考えられたらどうかと思います。

○委員

貸館の対応は、コミュニティでやっております。車で2、3分のところにあります玄海地区コミュニティは安い料金で貸館をしております。

○委員

23ページの自由が丘の「が」の字がカタカナの「ヶ」です。自由ヶ丘に住んでいますので。気を付けていただきたいと思います。

それと子どもたちが体験学習に参加していますが、その時に3Dシアターとかみたりしているのですか。

○事務局

そうですね。団体でお申込みしていただいたときに先方のご意向をおうかがいして体験をした

い、見学をしたい、3Dが見たいとか、情報をもってお問合せくださることが多いのでまず3Dを見にきたいという方が一番多いのではないかと思います。

○会長

3Dの出前はできないのですか。

○事務局

出前は難しいです。プロジェクターは2台で少しずつ投影し、メガネをかけて浮き出て見えるので2Dのソフトはありますが、ハードの部分が難しいです。

○会長

2Dだったら事前学習で学校にお貸ししたりできるのですか。

○事務局

2Dでしたら可能性としてはあります。

○委員

今は3Dを超えて新しい時代になっている。世界遺産に登録されたら、風や水しぶきを感じたりする施設があれば人気がでると思います。

先ほど8か国の自動翻訳機と言いましたが9か国ですね。おもてなしができる準備体制も検討事項として入れてもらえればと思います。

○委員

タブレットでは韓国語もあります。

○会長

年報事項はこれで終わります。

3 平成28年度宗像市郷土文化学習交流館事業（4月～9月）について（資料：4）

○会長

ありがとうございました。今年度の4月～9月までの実績についてご質問はありますか。

○副会長

今のご説明の中で、文化遺産の継承についての話ができましたので、少し太宰府についてお話をさせていただきます。太宰府は歴史文化遺産が多いので、それをどう子ども達に伝えていくか。今「太宰府の歴史文化を知る」という日本語版の冊子を作り、それを全小中学校に配り、授業の中でして頂いています。総合学習として、近くの歴史遺産の所に行ってもらい、そこにボランティアの人に来てもらう形で子ども達が動きながら学ぶようにしています。今しているのは、英語スピーチ大会で太宰府の歴史文化を英語でスピーチさせています。例えば「Do you know 梅が枝餅」のように総力をあげてやっています。2年経つと定着して、子ども達が育っています。宗像はこれだけのものを持っているならば、総力をあげてやればしっかり継承者が育つと思います。

○委員

知っている限りでは、世界遺産を教材にした副読本の検討委員会が現場の教員も含めてしています。今年度中に出来上がります。来年度から先行的に実践していき、うちの学校も選ばれると思います。2月にも宗像市小中学校ではスピーチ大会があり、そのテーマの中に夢や自分の地域を誇るスピーチのテーマがあります。中学生は英語スピーチもあるのです。いずれそういうものでつながっていくと思います。

そして世界遺産を抱えている地域で年に1回世界遺産学習サミットがあり、いずれ宗像もそこに入っても宗像が会場になれば、オープニングでは地元の小中学生が英語でスピーチをしたり研究発表会が行われています。いずれそこに繋がっていったらいいなと思います。

○副会長

いいですね。子ども達を育てるのは夢があります。

○会長

ここの館の上部団体は教育委員会ですか。

○事務局

はい。上部団体は教育委員会です。中にある職員の上部は市長部局になります。

○会長

40年前こちらに来たときは、行政の方で、新住民と旧住民という使い方をしていました。新住民とは、移住してきた方々、旧住民は先祖代々おられる方で、いつの間にか新住民が増えてそういった言い方は消えました。元々のこちらにおられる方でも身近に由緒があるものがあるなど掘りおこしができます。外部から来られた方が多いですので、自分が育ったところと宗像の違い、宗像のことが知りたいということがあるので、2つの大きな流れがある様です。外部から転入してきた方をターゲットにした部分と先祖代々お住まいになっている方を上手く繋ぎ合わせることも、ここの文化の発信のポイントになるかもしれません。40年前は嫌なことばでしたが。

4 国内推薦神宿る島宗像・沖ノ島と関連遺産群の現状と今後について

○会長

説明をお願いします。

○事務局

報道等でご存じのことと思いますが、イコモスの現地調査が9月7日～11日の5日間行われました。調査内容は非公表です。詳しくは申し上げられないのですが、9月7日は、午前中、現地調査1番目として、むなかた館に視察に来られました。むなかた館では、世界遺産のパネル展示と3Dの映像を紹介しながら実際に見ていただいて、その中で、「ここにはむなかたの子ども達が定期的に見に来ているのか」という質問が出ていました。

小学生5、6年生が見学に来ていて、実際にその対応を元小学校教諭の鎌田先生が活動内容を説明されました。また、地域学芸員の平松さんも地元の資産に関わる方として懇談を行いました。大島のガイドをしている方や民宿を運営をされている方、宗像大社辺津宮の氏子青年会の方と会うことも大事な調査の項目にありました。

子どもとの関わりを結構気にしている調査官という印象を受けました。10月1日のみあれ祭陸上神幸には地元の小中学生が関わっている。そして、その日の夜レセプションで三女神起のミュージカルを10分くらい披露しました。また市内の中学生が作った絵本を、いろんな学校から集まっているのでそれぞれの制服を着てその調査員に渡すといったことを行いました。子ども達が世界遺産に係っていることが伝わり、いい印象をもって帰っていただけたと思います。

午後は、神宝館に行きました。神宝館では、沖ノ島から出土されたものを見て、次の日は沖ノ島に行きました。3日目午前は新原奴山古墳、午後が辺津宮、4日目は大島、最終日は、福岡市でした。特に致命的な指摘もなかったように思います。調査員は、イコモスに戻ると、推薦書に書かれていたことがどの程度実現されそうな見込みがあるかという事をイコモスに持ち帰ることになります。昨年の例ですが11月末に、文化庁とイコモスのやり取りがありました。そこでいい方向が見えなくて長崎は推薦書が一端取り下げになりました。私どもは、そういったことにならないように、イコモスとの追加資料がもしあればいいものを出して来年の勧告に向けて、引き続き気を引き締めてやっていきます。そして見に来た方が満足して帰ってもらえるようにそして宗像市を訪れる方が高い水準で増えて長くその状態をキープしていけるようにしっかり商工と各関係部門と提携しながら頑張っていきたいと思います。

○会長

一歩も二歩も近づいている感じですね。調査員で来られた方は1人ですか。

○事務局

はい。ニューカレドニアの考古学者です。

○会長

仮登録になってからの調査はこの1回きりですか。

○事務局

はい。1回なので、沖ノ島には行ってもらうことにしていました。
幸い天気も良くスケジュール通りに行けました。

○会長

何か質問はありますか。

○委員

2点ほどあります。
観光で来られた方が、沖ノ島に渡れると思っっている方がおられると思うので、それはできないこと、年に1回の申し込みをしなければならぬ事を知らせておく必要があります。
もう1つは、本日もTVが今日の5時にありますが、最近沖ノ島がメディアに出だしたのでチェックをした方がよいです。

○事務局

先週の土曜日に「CUBE」というTNCの番組で大島が10分取り上げられました。そこでは、大島に来る方達をどう島内移動させるかが課題という事をやっていました。基本歩いて下さいというのが私達のスタンスですが、夏の暑い時や高齢者の方には遙拝所まで歩くのは無理かなと思いますので、島内のバス等を今後考えていきます。

また、沖ノ島に渡れるかは、世界遺産になったからといって沖ノ島へは行けるものではありませんので。

○委員

そのところははっきりしないといけない。来た方は沖ノ島へ行けるものと思っっているのは次につながらないです。そのためにこういったシステムになっていますといった説明が必要です。

○会長

沖ノ島の前の小屋島の帰属は解決しましたか？

○事務局

解決はしていませんが、方向性は出ました。大社の方になるということで動いています。

○委員

私は神宝館の学芸員として40年近く勉強してきた立場から、ここまできたからには世界遺産に是非なってほしいと思っっていますが、宗像大社が現在所有している古代から近世までの文化財を世界遺産に登録された後はしっかり研究して将来に伝えて周知してもらう活動を継続的に未来永劫続けていけなければいけないと思います。そのためには、施設やスタッフの充実を計られることを期待しています。神社という一宗教法人個人では守りきれないところが少しずつ出てくると思います。神宝館の学芸員も考古が1人、そして私の2人しかいないのでそれであれだけのものを研究し発信していくのはまず不可能です。世界遺産になった暁には、組織づくりが着実に進んでいくことを期待しています。期待はしておりますが、宗像の方ががんばって素地を作って、出来てみれば他県の人に大勢を占められていたという事にならないように、宗像のものは宗像の人がしっかり守って伝えていくように、むなかた館のみなさんには一層のご努力をお願いしたいと思います。

○事務局

9月議会の一般質問でも出ましたが、大社の古文書など整理がついていないのではないかと権宮司に聞きにいきましたところ、やはり大社だけでやっていくことは無理だということで県、市が手を携えて保存管理・活用・研究が必要になってくると思います。

○委員

どう逆立ちしても私たち女性は行けない島ですので、3Dだけでなく4Dで体感できる施設が有料でもあればいいなと思います。行けないというところに行きたいと思うのが人間の心理だと思うのでそういうことも先で考えていただければと思います。

○会長

これで終わらせて頂きます。今日の報告事項が終了しました。その他について事務局からよろしくお願いします。

○事務局

本日は、貴重なご意見を賜りまして、ありがとうございました。また、皆様方の任期が9月末日までとなっておりますので、今期の協議会は本日が最後となります。

2年間にわたりまして、海の道むなかた館の運営について、いろんな角度から、審議いただき、重ねてお礼申し上げます。

先ほど、世界遺産登録に関しまして、報告、ご説明をいたしました。来年は、このむなかた館も世界遺産のガイダンス施設として機能の充実を図っていかねければなりません。展示のリニューアル、館の改修なども検討課題となっております。皆様方の今期の任期は終了いたしますけれども、できますならば、次期の委員も継続してお引き受けいただき、また、引き続きご意見を賜りたいと、切に願うところでございます。

また、あらためまして、ご相談申し上げたいと存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。

この2年間、本当にありがとうございました。

○会長

最後に何かありますか。

○委員

むなかた館から市役所に向かう左側の釣川の所に木が2本、枝が出ており、普通車は問題ないが、バスやトラックのフロントガラスに当たっていました。堤防の草取りの時に業者に落としてもらっていましたが、最近県土木が根こそぎ木を2本切ってすっきりしています。その手前が崩落現場で近々工事に入ります。15日以降着工できると思います。

○会長

それではこれで終わります。